

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-71	高等学校	国語	現代文B	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
212 桐原	現B 341	新 探求現代文B		

1. 編修の基本方針

本書は、高等学校学習指導要領「現代文B」に準拠して編修した教科書である。教育基本法第2条にある目標と「現代文B」の目標の両方の目標の達成を可能にするため、言語を通して伝え合う力を高め、表現力と理解力を育成しつつ国語力をさらに高められるよう、以下の点を編修の基本方針とした。

①指導しやすい2部構成

多様な教育現場の学力レベルと指導形態に対応できるよう「I部」「II部」の2部構成とし、ジャンル別単元とした。

②教材の配置と学習の指針

各教材は、内容のまとまり・指導の時間数を考慮したうえで適切な分量の優れたものを精選した。また、学習上・指導上の効果を考慮して、より易しいものから難しいものへと配列した。各教材の末尾には、「読解」「表現」「発展」の問題から成る「学習の手引き」を設け、学習の指針となるようにした。

③教材の理解と言語の学習

学習者の理解力養成のため、各教材の本文下段には内容理解を促す小問を付したほか、末尾の「学習の手引き」には内容理解を深め、主題に迫るための「読解」問題を設けた。また、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の学習に資するため、知っておきたい重要語句や慣用句を各教材の本文下段にまとめた。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
I部「評論」5単元 (10教材) II部「評論」5単元 (11教材)	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、I部に「評論」5単元、II部に「評論」5単元を設け、多彩な内容を持つ21教材を配した(第1号)。 ②I部に、生命を考える教材「いのちは誰のものか?」を配した(第4号)。 ③I部に、環境を考える教材「木を伐る人/植える人」を配した(第4号)。 ④I部に、社会を考える教材『『である』ことと『する』こと』を配した(第3号)。 ⑤II部に、社会を考える教材「市民社会化する家族」「支配の役割」「地図の想像力」を配した(第3号)。	①16～25 ページ 54～71 ページ 88～105 ページ 133～155 ページ 192～204 ページ 216～229 ページ 260～277 ページ 291～309 ページ 334～356 ページ 404～420 ページ ②22～25 ページ ③140～149 ページ ④192～204 ページ ⑤260～269 ページ 404～409 ページ 410～420 ページ
I部「評論解析A」 単元(4教材) II部「評論解析B」 単元(4教材)	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、I部に「評論解析A」単元、II部に「評論解析B」単元を設け、多彩な内容を持つ8教材を配した(第1号)。	①46～53 ページ 252～259 ページ

I部「随想」1単元 (1教材) II部「随想」1単元 (1教材)	① I部に「随想」1単元を設け、人生や職業、個人の生き方を考える教材「自己とは何か(あるいはおいしい牡蠣フライの食べ方)」を配した(第2号)。 ② II部に「随想」1単元を設け、平和を考える教材「沙魚」を配した(第5号)。	①8～15 ページ ②278～290 ページ
I部「小説」3単元 (5教材) II部「小説」3単元 (5教材)	①正義と責任、男女の平等、自己と他者との関係について考えを深められるよう、I部に「小説」3単元、II部に「小説」3単元を設け、多彩な内容を持つ10教材を配した(第3号)。 ② I部に、平和を考える教材「靴の話」を配した(第5号)。	①26～45 ページ 106～132 ページ 156～189 ページ 230～251 ページ 310～333 ページ 370～401 ページ ②106～116 ページ
I部「詩」単元 II部「短歌と俳句」 単元	①幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培えるよう、I部に「詩」単元、II部に「短歌と俳句」単元を設け、多彩な表現に触れられる教材を多数配した(第1号)。 ② I部に、環境を考える教材「鮪に鯛」を配した(第4号)。	①72～85 ページ 358～369 ページ ②76～77 ページ
II部「表現」(5項目)	①創造性を培い、自主および自律の精神を養えるよう、II部「表現」に、実用的な表現能力を高めるための5項目を設けた(第2号)。	①422～437 ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

一般的な教養を高めるとともに、専門的な知見に触れられるよう、I部に「詩コラム」(86～87 ページ)、「小説コラム1」(190～191 ページ)、II部に「評論コラム」(357 ページ)、「小説コラム2」(402～403 ページ)を設けた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-71	高等学校	国語	現代文B	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
212 桐原	現B 341	新 探求現代文B		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

個々の教材の採録にあたっては、全体として、学習指導要領の「2内容」の各事項に沿った指導ができるよう、優れた表現と構成を持ち、主題や内容が明確で、適度な長さのものを厳選した。また、本文の学習をより深め、補佐するための資料として、巻頭巻末に「付録」を設けた。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
● I 部	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。	「評論」単元 16～25 ページ 54～71 ページ 88～105 ページ 133～155 ページ 192～204 ページ
① 「評論」5 単元 (10 教材)		「評論解析」単元 46～53 ページ
② 「評論解析」1 単元 (4 教材)		「随想」単元 8～15 ページ
③ 「随想」1 単元 (1 教材)		「小説」単元 26～45 ページ 106～132 ページ 156～189 ページ
④ 「小説」3 単元 (5 教材)		
⑤ 「詩」1 単元 (4 教材)	イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。	「小説」単元 26～45 ページ 106～132 ページ 156～189 ページ
⑥ 「戯曲」1 単元 (1 教材)		「小説コラム1」 190～191 ページ
⑦ 「詩コラム」		「詩」単元 72～85 ページ
⑧ 「小説コラム1」		「詩コラム」 86～87 ページ
	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。	「評論」単元 16～25 ページ 54～71 ページ 88～105 ページ 133～155 ページ 192～204 ページ

	<p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>「評論解析」単元 46～53 ページ 「戯曲」単元 205～214 ページ I 部の各教材 8～214 ページ</p>
<p>● II 部</p> <p>① 「評論」 5 単元 (11 教材)</p> <p>② 「評論解析」 1 単元 (4 教材)</p> <p>③ 「随想」 1 単元 (1 教材)</p> <p>④ 「小説」 3 単元 (5 教材)</p> <p>⑤ 「短歌と俳句」 単元</p> <p>⑥ 「評論コラム」</p> <p>⑦ 「小説コラム 2」</p>	<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p> <p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p> <p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>「評論」 単元 216～229 ページ 260～277 ページ 291～309 ページ 334～356 ページ 404～420 ページ 「評論解析」 単元 252～259 ページ 「随想」 単元 278～290 ページ 「小説」 単元 230～251 ページ 310～333 ページ 370～401 ページ 「小説」 単元 230～251 ページ 310～333 ページ 370～401 ページ 「小説コラム 2」 402～403 ページ 「短歌と俳句」 単元 358～369 ページ 「評論」 単元 216～229 ページ 260～277 ページ 291～309 ページ 334～356 ページ 404～420 ページ 「評論解析」 単元 252～259 ページ 「評論コラム」 357 ページ II 部の各教材 216～420 ページ</p>

<p>●表現</p> <p>①「表現1」 本を紹介する</p> <p>②「表現2」 討論をする</p> <p>③「表現3」 小論文を書く</p> <p>④「表現4」 文学作品について調べて発表する</p> <p>⑤「表現5」 短歌を作る</p>	<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p> <p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>「表現」の各項目 422～437 ページ</p> <p>「表現2」 424～425 ページ</p> <p>「表現3」 426～429 ページ</p> <p>「表現4」 430～434 ページ</p> <p>「表現5」 435～437 ページ</p>
--	--	---